

県内の長寿企業は8割が
創立当初の本業を継続して

創立時の本業継続 8割

県内の長寿企業調査

「信用・信頼性」が強み

沖縄の長寿企業アンケート

■長寿企業の強みと思うこと	沖縄	全国
信用、信頼性	62.0%	73.8%
知名度、顧客の継承	12.0	50.4
地域との結びつき	14.0	43.1
技術、従業員の継承	12.0	29.5
■長寿企業の弱みと思うこと		
新規開拓気概に欠ける	58.1%	54.9%
役員の高齢化	16.3	34.8
設備の老朽化	16.3	32.3
社内の風通しが悪い	9.3	12.7

※全国は複数回答、沖縄は4問択一
ファミリービジネス研究所沖縄本部まとめ

いることが、県内の同族企業について研究するファミリービジネス(FB)研究所沖縄本部(会長・比嘉正輝リウボウ会長)のアンケート調査で24日、分かった。長寿企業の強みとして「信用・信頼性」を挙げ

る半面、「新規開拓の気概に欠ける」など保守性が欠点に挙げられている。比嘉会長らは「県内長寿企業の特徴として経営指針となる社是を持ち、本業を継続する強さがある。厳しい時代に存続する企業を経営の参考にすべきだ」と述べた。

調査は県内企業を創業年の古い順に500社抽出

し、売上高5億円以上、従業員25人以上で、金融やマスコミ、医療法人などを除く95社にアンケート用紙を配布し、43社から回答を得た。平均営業年数は64年。卸売・小売業が最多の17社で、製造業11社が続いた。

全国との比較に帝国データバンクの老舗企業(創業100年以上)アンケート調査を使った。

県内長寿企業の81・8%が創業以来の本業をほぼ維持し、全国の41・3%の倍以上だった。全面的に本業変更したのはわずか4・5%。全国に比べ創業年数が浅く、事業見直しの時機に

来ていないことと、本業自体が強い企業が生き残っているからだとみられる。

長寿企業の強みは「信用、信頼性」が62・0%と過半数を占め、「地域との結びつき」14・0%、「知名度、顧客の継承」「技術、従業員の継承」が各12・0%だった。

逆に弱点は「新規開拓の気概に欠ける」58・1%で、「役員の高齢化」「設備の老朽化」各16・3%、「社内の風通しが悪い」9・3%。保守性や閉鎖性を挙げる企業が多かった。

後継者は「検討している」65・1%、「決まっている」30・2%で、「適任後継者はいない」はゼロだった。大沢真ファミリービジネス研究所事務局長は「沖縄は長子相続の意識が伝統的に強く、FBの強みになっているのではな

いか。今後、地域との関連を含め研究したい」と指摘した。